

・授業での感触や p3～p6 の「独自アンケートのまとめ」「教務課 web アンケート」から、以下に整理しました。

○ 前回授業レビューと対策の振り返り

下記の方針の各項目の下に「⇒」以降に今回の振り返りをコメントした。

次期授業への方針（2018.01.18）

1. 本科目の特徴は「情報系知識および情報を活用した経営系知識」の学修を目的とすることを継続する。
⇒本方針は継続する。ただし3年次学生に対して、経営系志向の希望を確認して、授業内容について、教科書の自習部分を明示することや、経営系でもサービスにさらにフォーカスした内容を充実させ、経営系と情報系の繋がりを学修させる。
2. IT パスポート試験のシラバス中で、上記に関わる範囲の履修を対象として多少絞り込み、経営系の一部知識は対象外とする。生まれる余裕時間を丁寧な説明や小テストにあてることも継続する。
⇒これも継続する。
3. グループ実習内容が2年を通して、次第に確立してきているので、授業の初期に説明して、授業内容を「自分事」として学修できるモチベーションを高める1つとして、グループ実習を位置づけて取り組む。グループ実習1では、サービスを構成するITの各層(ネット,メディア,ソフト,ハード,現場デバイス・人的要素)を整理し、様々な事例のシステムの把握を継続する。グループ実習2では、既述したように将来の各自が関心をもつ領域のワークスタイルを発想する。方法論は、大学や業界組織などでの経験を基に、学部学生にあう方法論になるようさらに改善をめざす。
⇒グループ実習2は、受講生の状況を把握する中で、少し抽象度が高すぎると判断して、IT業界で現役のゲストスピーカ(IBM 社部長)を交えた「AIに関する内容」に変更した。次年度は、さらにスマートデバイス(Raspberry PC+ビジュアル言語)を導入して、
 - ・グループ実習1：授業当初IT各層の知識をより体感(ハンズオン)的な学修内容に
 - ・グループ実習2：さらにAIクラウド機能を呼び出し、スマホとも連携する等、具体的なサービス機能を作ることなどを計画する。

4. 以上の検討から、シラバスの一部を下記のように更新したいと考えます。

現代の企業や組織では、現場のリアルな情報が機敏に経営にいかされる時代となっています。この講義では、情報技術（IT）やシステムの基礎を「広く俯瞰」しながら、事業やサービスとの関係について、現在進行中の具体的事例を交えながら修得いたします。

講義の範囲は、情報処理推進機構(IPA)による国家試験「IT パスポート」の範囲のうち、「テクノロジー系」および「ストラテジー系、マネジメント系の情報関連部分」をカバーしています。

本試験は、2019年度より、第四次産業革命を意識してAI（人工知能）やIoT（internet of things）等の知識が導入されるなど大幅改訂の見込みであり、今後の企業・組織のIT人材育成の入り口を担う資格として位置づけられています。

そこで全授業時間を通して、スマートデバイス(スモールPC、ビジュアル言語、AI機能を含む)を用いてハンズオン（体感学習）要素を導入し本分野の初心者の理解をサポートします。グループ実習では、企業のゲストスピーカも交えて、最近のITとサービスの関係を学び、さらに、AI機能を活用した具体的なサービスのプロトタイプ制作を行って頂きます。これにより「情報と経営（サービス）について理解できる知識修得」をめざします。

中村孝太郎

履修生 15 名 : 5 年 3 名, 4 年 7 名, 3 年 5 名, うち留学生 3 名 (4 名は初期 or 途中離脱)
 最終日出席者(アンケート回答者) : 10 名(全員経営学部), 定期試験受験者 : 11 名(+国際教養生)

○受講への期待と結果

1. 本科目履修により期待した点(番号に○を、複数可)

| | | |
|---------------------------|---|---|
| ① どちらかというと言経営系の知識を理解し深めたい | 5 | ⇒両者に分かれているが、3 年生 5 名中 3 名は①で、まだ経営系 取得がこれからの学生か？ |
| ② どちらかというと言情報系の知識を理解し深めたい | 5 | |
| ③ その他 () | 0 | |

⇒ ②は、IT 系企業・IT 系資格取得希望者が多い。

2. 上記の期待に対する履修の結果 (5 : 満足 ~ 1 : 不満足を選択)

| 満足: 5 ~ 不満足: 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 計 | 考察 |
|----------------|---|---|---|---|---|----|---------------------------------------|
| ① 経営系の知識 | 0 | 6 | 2 | 1 | 0 | 9 | ⇒経営系に比べ情報系の満足度が高い。今期も情報系を重視した結果と思われる。 |
| ② 情報系の知識 | 6 | 4 | 0 | 0 | 0 | 10 | |
| ③ その他 () | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |

3. 2 の理由

| 類似コメントの整理 | 数 | 考察 |
|------------------------------|---|-------------------------|
| ・情報系を網羅的に学ぶことができた | 1 | ⇒情報系の知識に関するコメントが中心であった。 |
| ・情報系の機械・ツール(知識)の勉強が多かったと思った。 | 3 | |
| ・具体的例でよりわかりやすくイメージ、記憶しやすい | 1 | |

○授業のレベル

4. 授業内容レベル : 自分にとっての感想

5 : かなり難しい 4 : 少し難しい 3 : ちょうどよい 2 : 易しい 1 : 易しすぎる

| 感想: 5 ~ 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 計 | 考察 |
|-----------|---|---|---|---|---|----|---------------------------|
| 選択数 | 1 | 7 | 2 | 0 | 0 | 10 | ⇒「少し難しい」が多く、より理解しやすい内容を要請 |

5. 4 の理由

| 類似コメントの整理 | 数 | 考察 |
|-----------------------|---|---|
| ・情報技術系分野はになじみがなく難しかった | 3 | ⇒すべて上記の 5-4 の学生のコメントで、情報系知識は比較的初心者が多いため、よりやさしく説明することが要請されている。 |
| ・特にソフト周辺の理解が大変でした | 1 | |
| ・留学生にとって知識が多すぎると思う | 1 | |
| ・難しい用語が多かった | 1 | |

○授業の方法

6. 授業の配布教材に対する感想

⇒「適切さ」については次回より、「5~1」の評点の意味を例示する。

5 : かなり難しい 4 : 少し難しい 3 : ちょうどよい 2 : 易しい 1 : 易しすぎる

| 感想/適切さ: 5~1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 計 | 考察 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---------------|
| 感想 | 0 | 5 | 3 | 0 | 0 | 8 | ⇒少し難しい~ちょうどよい |
| 適切さ | 1 | 3 | 3 | 0 | 0 | 7 | ⇒少し難しい~ほぼ適切 |

適切さの理由

| 類似コメントの整理 | 数 | 考察 |
|----------------------------|---|-----------------------|
| ・わかりやすい内容でした | 1 | コメント少 ⇒空欄説明の手間をかける |
| ・スライドの内容が手元にあってわかりやすかった | 1 | |
| ・空欄の部分の説明が速く進むとき、把握できない時あり | 1 | |

7. 授業で指定した教科書に対する感想

適切さを5 - 1で評価してください。(5 4 3 2 1)

| 適切さ: 5~1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 計 | 考察 |
|----------|---------------------------|---|---|---|---|---|-----------------|
| 選択数 | 2 | 4 | 3 | 0 | 0 | 9 | ⇒完全に適切という訳ではない。 |
| 理由があれば | 初学者でも学びやすい:1、かみ砕いた説明が良い:1 | | | | | | |

8. 授業で行った小テストに対する感想を述べて下さい。

| 適切さ: 5~1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 計 | 考察 |
|----------|--|---|---|---|---|----|--------------|
| 選択数 | 3 | 4 | 3 | 0 | 0 | 10 | ⇒実施はほぼ適切だった。 |
| 理由があれば | 実際のテスト同様の形式で、受験する際の参考になると思う:1, 適切に復習ができた:1、授業で習っていない内容は難しかった:1 | | | | | | |

9. 授業前に行った新聞・雑誌・web 記事情報活用に対する感想を述べて下さい。

| 適切さ: 5~1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 計 | 考察 |
|----------|--|---|---|---|---|----|------------|
| 選択数 | 6 | 2 | 2 | 0 | 0 | 10 | ⇒実施は適切だった。 |
| 理由があれば | 左心の話・事例は好奇心に・受講内容と結びつく:2、普段ネットなので日経記事参考に:1 | | | | | | |

○グループ実習の方法

10. グループ実習(1回目:事例の階層別整理)に対する感想を述べて下さい。

| 適切さ: 5~1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 計 | 考察 |
|----------|---|---|---|---|---|----|------------------|
| 選択数 | 6 | 3 | 1 | 0 | 0 | 10 | ⇒実施は適切、方法論まだ要検討。 |
| 理由があれば | マルチメディアやハードになじみがなかったため少し難しく感じた(3の人)。情報系の分類になれていない。書式スライドの複雑な場所あり。 | | | | | | |

より良くするには

| 類似コメントの整理 | 数 | 考察 |
|-----------|---|------------------------------|
| 特になし | | 座学とのさらなる連動により理解を促す。ハンズオン要素増す |

1 1. グループ実習(2 回目 AI を用いた社会的課題解決等のためのシステム検討)に対する感想を述べて下さい。

| | | | | | | | |
|----------|---------------------------|---|---|---|---|----|----------------|
| 適切さ: 5~1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 計 | 考察 |
| 選択数 | 8 | 2 | 0 | 0 | 0 | 10 | ⇒実施は適切、方法論要検討。 |
| 理由があれば | ・ IBM 社の方も来てアドバイス等あり良かった。 | | | | | | |

より良くするには

| | | |
|--|---|---|
| 類似コメントの整理 | 数 | 考察 |
| ・ AI を用いた社会はどうなるのか/どうしたいのか、効率性だけでなく哲学や思想の伴った目的間を考えるきっかけがあってもいいかもしれません。 | 1 | ⇒次回もゲストスピーカ検討、また座学やグループ実習 1 との連動でより理解を促す。 |

○履修の成果

1 2. 経営と情報技術の関係性のある程度理解できたかどうかに関する直感的感想を述べて下さい。

理解できたかを 5 - 1 で評価してください。(5 4 3 2 1)

| | | | | | | | |
|----------|---------------------------------|---|---|---|---|----|--------------|
| 理解?: 5~1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 計 | 考察 |
| 選択数 | 4 | 4 | 2 | 0 | 0 | 10 | ⇒ある程度理解している。 |
| 理由があれば | 他の経営系授業では IT を深く学べないので良い経験となった。 | | | | | | |

1 3. 資格試験対策に十分になったかどうかに関する感想を述べて下さい。

取得想定している資格・試験⇒(基本情報処理技術者: 1 人、IT パスポート: 1 人+a、中小企業診断士: 1 人)

十分になったかを 5 - 1 で評価してください。(5 4 3 2 1)

| | | | | | | | |
|----------|-------|---|---|---|---|----|------------------|
| 対策に: 5~1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 計 | 考察 |
| 選択数 | 3 | 3 | 1 | 0 | 0 | 10 | ⇒実施は適切、方法論さらに向上。 |
| 理由があれば | : 1 件 | | | | | | |

○関連科目との関係性や科目全般

1 4. 関連する他の科目に関する感想を述べて下さい。

本科目と関連すると思われる科目は?

内容の重複・独自性について、下記選択して下さい。

⇒本科目は、5: 十分独自性がある 4: 独自性がある 3: 重複するが視点が違う

2: 重複し独自性が弱い、1: ほとんど重複しその部分は対象外にすべき

| 上記評価: 5～1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 計 | 指摘科目のどの部分 ⇒は「独自性を増すには」のコメント |
|------------|---|---|---|---|---|---|--------------------------------|
| 科目無記名者 | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 | 6 | ・かなり独自性を感じている。 |
| 財務管理論 | 1 | 0 | 0 | | | | ⇒より経緯と結びついた内容へ ⇒同上 |
| 経営戦略論 | | | 1 | | | | |
| 情報科学 | 1 | | 1 | | | | |
| デザインマネジメント | | 1 | | | | | |
| E ビジネス論 | | 1 | | | | | |
| プログラミング論 | 1 | | | | | | |

15. 本科目の全般についてご意見や要望があれば記入

| 類似コメントの整理 | 数 | 考察 |
|-------------------------------|---|-----------------|
| ・楽しく学べた。PC 自作のことを発表してもよかったです。 | 1 | ⇒個人志向を早期把握し反映を |
| ・先生がやさしいと思います（留学生）。 | 1 | ⇒・・・ |
| ・シンクタンクに就職、通信業界志望者に良い学習経験に | 1 | ⇒志望先を早期把握しさらに反映 |

(以上)

○教務課による web アンケート結果 (2019.02.12 送付頂いた PDF より抜粋)

1. 学生の振り返り項目

| | 有効回答数 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 平均 | 大学平均 | 学科・科目群平均 |
|--|-------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|------|----------|
| (1) この授業に関して、あなたは授業時間以外での学習(授業の予習・復習、レポート作成、試験準備などを含む)に毎回の授業のたびにどれくらいの時間をかけていましたか? | 9 100.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 11.1% | 0 0.0% | 1 11.1% | 0 0.0% | 1 11.1% | 3 33.3% | 3 33.3% | 2.67 | 3.17 | 3.24 |
| (2) この授業の内容が理解できましたか? | 9 100.0% | | | | | | 3 33.3% | 6 66.7% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 4.33 | 4.19 | 4.09 |
| (3) あなたはこの授業のシラバスに書いてある到達目標を、どの程度達成できたと思いますか? | 9 100.0% | | | | | | 2 22.2% | 5 55.6% | 1 11.1% | 1 11.1% | 0 0.0% | 3.89 | 3.70 | 3.67 |
| (5) シラバスに示された成績評価方法を理解して、授業に取り組みましたか? | 9 100.0% | | | | | | 4 44.4% | 4 44.4% | 1 11.1% | 0 0.0% | 0 0.0% | 4.33 | 4.28 | 4.27 |

(4) 授業中にあなたが、力を入れていた事をその順番に3つ以内で選んで下さい。

| | 回答数 | 構成比 (%) |
|--------------------------|-----|---------|
| 1. 教員・講師の話をよく聞く | 6 | 66.7% |
| 2. ノートを取る | 3 | 33.3% |
| 3. 疑問点を明らかにする | 1 | 11.1% |
| 4. 教員に質問する | 1 | 11.1% |
| 5. 自分の考えをまとめる | 3 | 33.3% |
| 6. 学習活動やグループワークに積極的に参加する | 4 | 44.4% |
| 有効回答者数 | 9 | 100.0% |

2. この授業に対する評価

| | 有効 回答 数 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 平均 | 大学平均 | 学科・科目群平均 |
|---|---------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-------------|------|----------|
| (1) 授業は、シラバスに示された授業の到達目標や授業計画に沿っていましたか？(学生への周知の上で計画が変更された場合は、授業は変更された計画に沿って行われましたか) | 9 100.0% | 7 77.8% | 2 22.2% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 4.78 | 4.54 | 4.49 |
| (2) この授業全体(授業内容・課題も含む)を通して、アクティブ・ラーニングなどの能動的に学ぶ機会がありましたか？ | 9 100.0% | 7 77.8% | 2 22.2% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 4.78 | 4.26 | 4.24 |
| (3) 授業で出された予習課題・宿題は、学生の学習を促進させる上で適切でしたか？ | 9 100.0% | 8 88.9% | 1 11.1% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 4.89 | 4.44 | 4.43 |
| (4) 教員は学生の理解を確かめながら、授業を進めていましたか？ | 9 100.0% | 8 88.9% | 1 11.1% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 4.89 | 4.35 | 4.31 |

(5) あなたがこの授業を受講して、満足した項目について当てはまるものがあれば選んで下さい。(複数回答可)

| | 回答数 | 構成比(%) |
|---|-----|--------|
| 1.知的興味が高まった | 7 | 77.8% |
| 2.学習意欲が増した | 5 | 55.6% |
| 3.苦手意識を克服できた | 2 | 22.2% |
| 4.新しい知識スキルが身についた | 6 | 66.7% |
| 5.課題をやり遂げる醍醐味を知った | 0 | 0.0% |
| 6.既知・既習(すでに知っていること・すでに学習していること)と関連づけることができた | 3 | 33.3% |
| 7.学びあう仲間ができた | 1 | 11.1% |
| 8.学んだことを伝える力がついた | 1 | 11.1% |
| 9.その他 | 0 | 0.0% |
| 有効回答者数 | 9 | 100.0% |

○考察

- ・今回授業開始して3年目となるが、初めて1の(2)(3)(5)および2の(1)~(4)は、「**大学平均**」「**学科・科目群平均**」を上回る結果となった。
- ・その要因として、**受講生が少人数**となったことから、一人一人との対話などにより状況に多少なりとも、以前よりは留意した授業ができたからと思われる。
- ・また、講義資料も、項目ごとにイントロとして**最初の問題意識を喚起させる「メタファー」**を導入したことがよかったのかもしれない。
- ・小生自身のアンケートの依然としておおい「**少し難しい**」という結果とどう考えたら良いのか検討してゆきたい。
- ・受講生が減少気味なのは**水曜午後**という、**アルバイトやインターンの多い曜日**あるいは「**経営者が語る**」**科目時間が重なっている**ということもあるかもしれないが、受講生の増加にも努力したい。
- ・1-(1)のように、予習・復習の時間が、平均以下であるが、単にホームワークを増やすというより、**アクティブ・ラーニング的なグループ実習の内容充実のための課題作業を多く**とることで、対応してゆきたい。

- ・ 授業での感触や p3～p6 の「アンケートのまとめ」から、以下に整理しました。
- ・ 後日教務課収集の web アンケート結果も含めて update いたします。

○ 今期授業のレビュー

A. 受講への期待と結果

1. 受講生は、履修生 26 名 : 5 年 2 名, 4 年 4 名, 3 年 20 名 (うち 1 名は国際教養) , うち体調不良 2 名。
2. 履修の期待は、経営系の知識と情報系の知識の両方にあり、経営系に比べ情報系の満足度が高い。今期、他科目に対するダブリをなくし独自性を高めるため経営系知識を少し減らし情報系を重視した結果と思われる。

B. 授業の内容・レベル

3. 「少し難しい」が多く、より理解しやすい内容を要請している。前回と同様に情報系知識は比較的初心者が多いため、よりやさしく説明することが要請されている。
4. その原因として、下記等が考えられる。
 - ① 日経などの新聞記事を、IT の事例・動向として前回より積極的に引用したが、理解には業界知識を多少要したこと。
 - ② 欧州出張予定のための補講日程が、講師の親族葬儀で取り消し変更となり、他科目の補講日程と重なり、補講の出席率が少なかったこと。
 - ③ グループ実習 2 回目の実施の趣旨が、②の状況もあり、全員への理解・徹底が十分でなかったこと。

C. 授業の方法

5. 講義の順番に一致している PPT 配布教材は、教科書の内容より一步詳細に、体系化した内容となっており、これがやや学修上の「難しさ」につながっているようである。
6. 教科書 : 情報系知識の入門者向け、PPT 配布教材 : より体系的、を意図したが、せめて説明の順を一致させることにより、相互参照を容易にして学修をスムーズにする方がよさそうである。
7. 授業で行った小テスト(過去問利用、3 回実施)や新聞・雑誌・web 記事の活用 (授業前にフォーラム投稿頂き授業で引用) の実施は、ほぼ適切と感じている。、小テストは、前半は何も見ず回答、後半は教科書・授業資料を参照し、両方採点に反映する方法をとっている。記事引用は、ポイントを線引きする等、理解しやすいよう工夫が必要。

D. グループ実習の方法

8. グループ実習の 1 回目は前回と同様、2 回目は経営戦略でなく、未来予測的な内容を試した。情報系知識と経営系知識を基に、「自分事」として、将来の各自が興味をもつ領域のワークスタイルやサービスの様子を発想する。前半はグループ、後半は個人課題に。これを通

して、「科目内容を自分の将来像に結びつけて内面化をはかる」。

9. 今回は、授業の最終時期に行ったこともあり、事前の理解が十分でなかった部分もあるが、個人レポートを見ると、かなりよく表現されていた。次回は、授業前半に予告して、小テストと同じような周期で、科目終盤にむけて少しずつグループ実習を進める方式を考えたい。

E.履修の成果

10. 経営と情報技術の関係性を、ある程度理解できたと感じている。
11. 取得想定している資格・試験は、基本情報処理技術者: 1人、ITパスポート:6人以上であり、受講者の率では前回より増加している。ただし本科目は受験対策だけを目的にしている訳ではないので、受験希望者向けにアドバイスなど別途行うことがよいと思われる。今回は、JIPDECからパンフを取り寄せ、全員に配布し、日程・場所のwebの見方も示した。

F.関連科目との関係性や科目全般

12. 受講者が関連すると思った他の科目に対しての独自性については、前回よりは向上していると判断できる。

○ 次期授業への方針：以上のA~Fの考察を踏まえて **2018.01.18**

5. 本科目の特徴は「情報系知識および情報を活用した経営系知識」の学修を目的とすることを継続する。
6. ITパスポート試験のシラバス中で、上記に関わる範囲の履修を対象として多少絞り込み、経営系の一部知識は対象外とする。生まれる余裕時間を丁寧な説明や小テストにあてることも継続する。
7. グループ実習内容が2年を通して、次第に確立してきているので、授業の初期に説明して、授業内容を「自分事」として学修できるモチベーションを高める1つとして、グループ実習を位置づけて取り組む。グループ実習1では、サービスを構成するITの各層(ネット,メディア,ソフト,ハード,現場デバイス・人的要素)を整理し、様々な事例のシステムの把握を継続する。グループ実習2では、既述したように将来の各自が関心をもつ領域のワークスタイルを発想する。方法論は、大学や業界組織などでの経験を基に、学部学生にあう方法論になるようさらに改善をめざす。
8. 以上、必要に応じて、シラバスを一部のみ更新したいと考えます。

中村孝太郎

履修生 26 名 : 5 年 2 名, 4 年 4 名, 3 年 20 名, うち体調不良 2 名
 最終日出席者 20 名全員 + 事後 1 名分、計 21 名回収

○受講への期待と結果

1. 本科目履修により期待した点(番号に○を、複数可)

| | | |
|--------------------------|----|------------------------------|
| ① どちらかというと経営系の知識を理解し深めたい | 10 | ⇒両者に分かれているが、両者の関係性を深めたいの意向か？ |
| ② どちらかというと情報系の知識を理解し深めたい | 11 | |
| ③ その他 () | 0 | |

⇒ ①は経営系科目学修途上の3年生が多く、②はそれと経営科目を学修した上級生が多い。

2. 上記の期待に対する履修の結果 (5 : 満足 ~ 1 : 不満足を選択)

| 満足: 5 ~ 不満足: 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 計 | 考察 |
|----------------|---|----|----|---|---|----|--------------------------------------|
| ④ 経営系の知識 | 2 | 5 | 11 | 3 | 0 | 21 | ⇒経営系に比べ情報系の満足度が高い。今期情報系を重視した結果と思われる。 |
| ⑤ 情報系の知識 | 5 | 11 | 4 | 0 | 0 | 20 | |
| ⑥ その他 () | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | | |

3. 2の理由

| 類似コメントの整理 | 数 | 考察 |
|-----------------------------|---|-------------------------|
| ・情報系が多かったが始めてなので良かった/深まった。 | 3 | ⇒情報系の知識に関するコメントが中心であった。 |
| ・ITがビジネスにどう働いているか業界知識・実例を理解 | 1 | |
| ・システム関連(階層?)の詳細も理解できてよかった。 | 1 | |
| ・情報系知識で(もう少し?)理解したかった部分があった | 1 | |
| ・G実習で時事(動向情報?)との関連はやや難しかった。 | 1 | |

○授業のレベル

4. 授業内容レベル: 自分にとっての感想

5 : かなり難しい 4 : 少し難しい 3 : ちょうどよい 2 : 易しい 1 : 易しすぎる

| 感想: 5 ~ 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 計 | 考察 |
|-----------|---|----|---|---|---|----|---------------------------|
| 選択数 | 6 | 11 | 4 | 0 | 0 | 21 | ⇒「少し難しい」が多く、より理解しやすい内容を要請 |

5. 4の理由

| 類似コメントの整理 | 数 | 考察 |
|---------------------------|---|--|
| ・情報系授業は初めて/基礎知識が弱い。 | 3 | ⇒情報系知識は比較的初心者が多いため、よりやさしく説明することが要請されている。 |
| ・専門用語/専門的内容がむずかしい。 | 2 | |
| ・情報系知識が苦手だった。 | 1 | |
| ・授業のスピードが自分には速かった。 | 1 | ⇒新聞記事などは易しい内容のものを 選択する必要がある。 |
| ・時事に関する知識も G 実習・課題に要し苦戦した | 1 | |
| ・難しい内容を分かりやすく説明してくれた。 | 1 | |
| ・iパス受験にあたり自分に不足する知識を補えた。 | 1 | |

○授業の方法

6. 授業の配布教材に対する感想

⇒「適切さ」については次回より、「5～1」の評点の意味を例示する。

5：かなり難しい 4：少し難しい 3：ちょうどよい 2：易しい 1：易しすぎる

| 感想/適切さ:5～1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 計 | 考察 |
|------------|---|---|---|---|---|----|--------------|
| 感想 | 0 | 6 | 8 | 0 | 0 | 14 | ⇒ちょうどよい～少難しい |
| 適切さ | 3 | 9 | 4 | 0 | 0 | 16 | ⇒ほぼ適切 |

適切さの理由

| 類似コメントの整理 | 数 | 考察 |
|--------------------|---|---------------|
| ・内容理解に役に立った 1 | 1 | コメント少 |
| ・見方がユニークで少し難しかった 1 | 1 | ⇒教材分かりやすさ工夫継続 |

7. 授業で指定した教科書に対する感想

適切さを5－1で評価してください。(5 4 3 2 1)

| 適切さ:5～1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 計 | 考察 |
|---------|-----------------------------------|---|----|---|---|----|-----------------|
| 選択数 | 4 | 6 | 10 | 1 | 0 | 21 | ⇒完全に適切という訳ではない。 |
| 理由があれば | 読みやすい教科書:1、小テストで役だった:1、好みではなかった:1 | | | | | | |

8. 授業で行った小テストに対する感想を述べて下さい。

| 適切さ:5～1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 計 | 考察 |
|---------|--|----|---|---|---|----|------------|
| 選択数 | 6 | 12 | 3 | 0 | 0 | 21 | ⇒実施は適切だった。 |
| 理由があれば | 問題回答により理解できていないところが分かった、良い復習になり学びが深まった、応用が難しかった:各1 | | | | | | |

9. 授業前に行った新聞・雑誌・web 記事情報活用に対する感想を述べて下さい。

| 適切さ:5～1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 計 | 考察 |
|---------|--------------------------------------|---|---|---|---|----|------------|
| 選択数 | 7 | 8 | 5 | 0 | 0 | 20 | ⇒実施は適切だった。 |
| 理由があれば | 事例紹介された意義を理解できたか微妙:1 ⇒易しい事例をコンパクトに紹介 | | | | | | |

○グループ実習の方法

10. グループ実習(1回目:事例の階層別整理)に対する感想を述べて下さい。

| 適切さ:5～1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 計 | 考察 |
|---------|--|----|---|---|---|----|----------------|
| 選択数 | 5 | 10 | 6 | 0 | 0 | 21 | ⇒実施は適切、方法論要検討。 |
| 理由があれば | 皆と楽しく学べた。システムのつながりを意識できた。情報系の分類になれていない。書式スライドの複雑な場所あり。 | | | | | | |

より良くするには

| 類似コメントの整理 | 数 | 考察 |
|-----------|---|----|
| | | |

| | | |
|--|---------------------------------|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・実習のアウトラインをよりはっきり示すとよい。 ・グループプレゼンに対する講評内容をもっと事前に ・プレゼンを1回でまとめて行う。 ・もう少し時間をかける方がよい。 ・講義 15 回くらいから毎回 30 分程度グループ実習に使う ・書式スライドに分かりづらい/参考データを示すべき。 ・参加できなかった。 | 1 1 1 1 1 2 2 | ⇒事前概要徹底、作業内容説明、スライド書式の項目について、理解度向上や改善を図る。 ⇒授業期間の早めに、グループ実習内容を説明して事前学習の活性化を図る。 |
|--|---------------------------------|--|

1 1. グループ実習(2 回目：未来の仮説とワークスタイルの兆候の発想・整理)に対する感想を述べて下さい。

| 適切さ: 5～1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 計 | 考察 |
|----------|---|---|---|---|---|----|-------------------------|
| 選択数 | 6 | 9 | 5 | 1 | 0 | 21 | ⇒10 と大差なし。実施は適切、方法論要検討。 |
| 理由があれば | <ul style="list-style-type: none"> ・これから(仕事・就職?)を考えてゆく上でよかった。 ・F×W 発想の段階で情報・思考を要し苦戦した。 ・一回目は特定の製品に関連する IT とビジネスの関係性について理解でき、二回目は特定の業界にまつわる IT とビジネスの関連性、また情報技術の進歩について想像を交えながら考察できたことで、二種類の観点から IT ビジネスを学習することができました。また自分の興味あることについて調べながらも、授業内容に関連することを全体的に学習できて、さらに IT ビジネスについて興味を深めることができたので、良いと思います。 | | | | | | |

より良くするには

| 類似コメントの整理 | 数 | 考察 |
|---|----------------------------|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・興味のある業種との関連とその未来像を考えるきっかけになった。 ・やり方の説明より具体的に。 ・参考例になる仮説を挙げる。 ・6 グループの人数のバランスを均等に。 ・事前準備の時間をもう少しとるべき。 ・あまり分からなかった。 | 1 1 1 1 1 1 | ⇒事前概要徹底、作業内容説明、スライド書式の項目について、理解度向上や改善を図る。 ⇒授業期間の早めに、グループ実習内容を説明して事前学習の活性化を図る。 |

前年度の 11.は⇒「経営系科目や情報系科目を俯瞰できたかどうかに関する直感的感想を述べて下さい。俯瞰できたかを 5 - 1 で評価」だったが、「俯瞰」取り下げにより、上記 11.に変更

○履修の成果

1 2. 経営と情報技術の関係性をある程度理解できたかどうかに関する直感的感想を述べて下さい。

理解できたかを 5 - 1 で評価してください。(5 4 3 2 1)

| 理解?: 5～1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 計 | 考察 |
|----------|--|----|---|---|---|----|--------------|
| 選択数 | 2 | 11 | 7 | 1 | 0 | 21 | ⇒ある程度理解している。 |
| 理由があれば | 小テストは i パス過去問のため。経営・マネジメントに情報システム・最新技術が関係しているため。難しかった。 情報技術が経営に必要であること、情報技術が手助けしている様子:各 1 | | | | | | |

1 3. 資格試験対策に十分になったかどうかに関する感想を述べて下さい。

取得想定している資格・試験⇒(基本情報処理技術者:1人、ITパスポート:6人+a?)

十分になったかを5-1で評価してください。(5 4 3 2 1)

| 対策に:5~1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 計 | 考察 |
|---------|----------------|---|---|---|---|----|------------------|
| 選択数 | 3 | 8 | 2 | 3 | 0 | 16 | ⇒実施は適切、方法論さらに向上。 |
| 理由があれば | 資格目的に学んでいない:1件 | | | | | | |

○関連科目との関係性や科目全般

1 4. 関連する他の科目に関する感想を述べて下さい。

本科目と関連すると思われる科目は?

内容の重複・独自性について、下記選択して下さい。

⇒本科目は、5:十分独自性がある 4:独自性がある 3:重複するが視点が違う

2:重複し独自性が弱い、1:ほとんど重複しその部分の対象外にすべき

| 上記評価:5~1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 計 | 指摘科目のどの部分 ⇒は「独自性を増すには」のコメント |
|-----------|---|---|---|---|---|----|----------------------------------|
| 科目無記名者 | 5 | 3 | 1 | 0 | 0 | 14 | ・かなり独自性を感じている。 |
| コンピューテラシー | 1 | 4 | 1 | | | | ⇒もっとiパス出題傾向を教えて。 ⇒経営との関連をより強く |
| マーケティング | 1 | | | | | | |
| eビジネス論 | | 1 | | | | | |
| データベース論 | 1 | | | | | | |
| プログラミング | | 1 | | | | | |
| ビジネスデータ分析 | | 1 | | | | | |
| 情報科学I・II | | 1 | | | | | |
| 統計学 | | 1 | | | | | ⇒統計調査に関わる情報システムは。 |

1 5. 本科目の全般についてご意見や要望があれば記入

| 類似コメントの整理 | 数 | 考察 |
|-----------------------------|---|---------------|
| ・グループ実習で学びとプレッシャーが付き良かった。 | 1 | ⇒グループ実習継続・向上へ |
| ・受講生に近づき解説したのはよかった。 | 1 | ⇒居眠り防止策として継続 |
| ・教科書を授業中にももっとふれてほしかった。 | 1 | |
| ・小テスト内容の教科書該当部分を指定してほしかった。 | 1 | ⇒教科書の関連部分明示継続 |
| ・最近のIT状況や発展を学べて良かった。 | 1 | ⇒易しい記事の簡易紹介 |
| ・丁寧なメール連絡は助かった。 | 1 | ⇒発信継続 |
| ・全体を通して楽しかった。個人的に発言しやすい雰囲気。 | 4 | |
| 半年間ありがとう。 | | |

(以上)